

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第 46 回 2015 年 7 月 “当事者研究”という視点 の巻

今日は、北海道にある“べてるの家”でされている当事者研究について、職場で実践されている方より話題提供がありました。

当事者研究とは、疾患をもつその人自身が、自分についての研究をするのだそうです。とても新鮮で、新しい視点でした。

診断名や、その疾患へのイメージによって、私たちは、その人のもつ全体像や豊かな力を見落としているところがあるのかなあ・・・と考えさせられた回でした。

記録： ほんのり (臨床心理士)

日 時： 2015 年 7 月 11 日(土) 13:00～15:00

場 所： 茨木市男女共生センター ローズ WAM

参加者： 6名 (大阪府 SC、大阪府教員、
その他、医療分野 CP、福祉分野 CP)

内 容：

前半：参加者から話題提供

テーマ：べてるの家に学ぶ当事者研究・ミーティング

後半：心理アセスメントの練習

事 例：_____

次回開催予定：2015 年 8 月 8 日(土) 13:00～15:00

テーマ：システムという視点での見方